

福田行誠 ゆきまこと 僧侶、歌人。文化六年四月九日武藏國生れ、明治一
 十一年四月二十五日歿（八〇九一八）。字管阿、初名大堂。號蓮蓮社と
 譽、東山禪坊。前々云食沙門行誠。京都の天台宗を修め、慧澄等の學
 ぶ。慶應二年回向院往職。維新後の廢佛毀釋の、諸宗同盟會會頭とし
 て佛教擁護の當り。明治十一年増上寺住職、翌年大教止、二十年知恩
 院門主、浄土宗管長。歌人としてと著名。

著書 口元祖 大師法語筆話（内題「圓光大師法語筆話」書、明治二十一年

七月八日大阪・松浦善吾（衛門判）、口松浦龜鑑（大内青巖校、再版

・明治二十一年九月鴻盟社）、遺稿口釋教百首（明治二十一年）

月二十七日福田循誘編輯、文淵堂發兌）、口雪窓文問（循誘等筆記、

明治二十三年四月、二十五日序・河瀬秀治判）、口行誠上人全集（明

治二十二年一月十日佛教學會）、口上人詩歌集（梶寛順編、明治二

十九年十月、二十五日東光社）、口行誠上人文集（昭和六年一月十五

日東方書院「佛教文庫」等。

